

# 第18回目「第4次産業革命」勉強会のご案内

主催:NPO法人 北九州テクノサポート

NPO-KTS 影山

1. 日時: 令和元年7月25日(木) 午後1時30分～3時30分

2. 場所: 八幡西生涯学習総合センター 2階 202会議室

(北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3階 TEL:093-641-9360

最寄駅: 鹿児島本線 黒崎駅)

3. 勉強会次第

1) IoTシステムに最適な通信技術の選択

2) ITシステム「2025年の壁」とは

3) その他

出席される方は、7月23日までに [kageyama@ieee.org](mailto:kageyama@ieee.org) 宛てご連絡願います。

# IoTシステムに最適な通信技術の選択

## 目次

1. IoTを構成する4つの工程と基盤技術
2. 公衆回線の5Gへの進化
3. ファクトリーオートメーション用近距離通信に求められるもの
4. プロセスオートメーション用近距離通信に求められるもの
5. 近距離通信選択の要件
6. 主な近距離有線通信
7. 近距離有線通信の動向
8. 近距離有線通信Ethernetの規格はテラビットへ
9. 近距離有線通信EtherCAT
10. 通信距離から見た無線ネットワーク
11. 近距離無線ネットワークの通信距離と通信速度
12. IEEE802.11無線LAN(Wi-Fi)の規格は5Gへ
13. Wi-Fi以外の近距離無線ネットワーク
14. Wi-FiとBluetooth, ZigBeeの比較
15. LPWAに分類される主な通信技術
16. EnOceanを使ったIoTゲートウェイの事例
17. プロセスオートメーション用近距離無線通信ISA100.11a
18. 通信ネットワークにおける遅延のメカニズム

# D X レポート

～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～

## 1. 検討の背景と議論の Scope

## 2. DXの推進に関する現状と課題

- 2.1 DXを実行する上での経営戦略における現状と課題
- 2.2 既存システムの現状と課題
- 2.3 ユーザ企業における経営層・各部門・人材等の課題
- 2.4 ユーザ企業とベンダー企業との関係
- 2.5 情報サービス産業の抱える課題
- 2.6 DXを推進しない場合の影響

## 3. 対応策の検討

- 3.1 「DX推進システムガイドライン」の策定
- 3.2 「見える化」指標、診断スキームの構築
- 3.3 DX実現に向けたITシステム構築におけるコスト・リスク低減のための対応策
- 3.4 ユーザ企業・ベンダー企業の目指すべき姿と双方の新たな関係
- 3.5 DX人材の育成・確保
- 3.6 ITシステム刷新の見通し明確化

## 4. 今後の検討の方向性